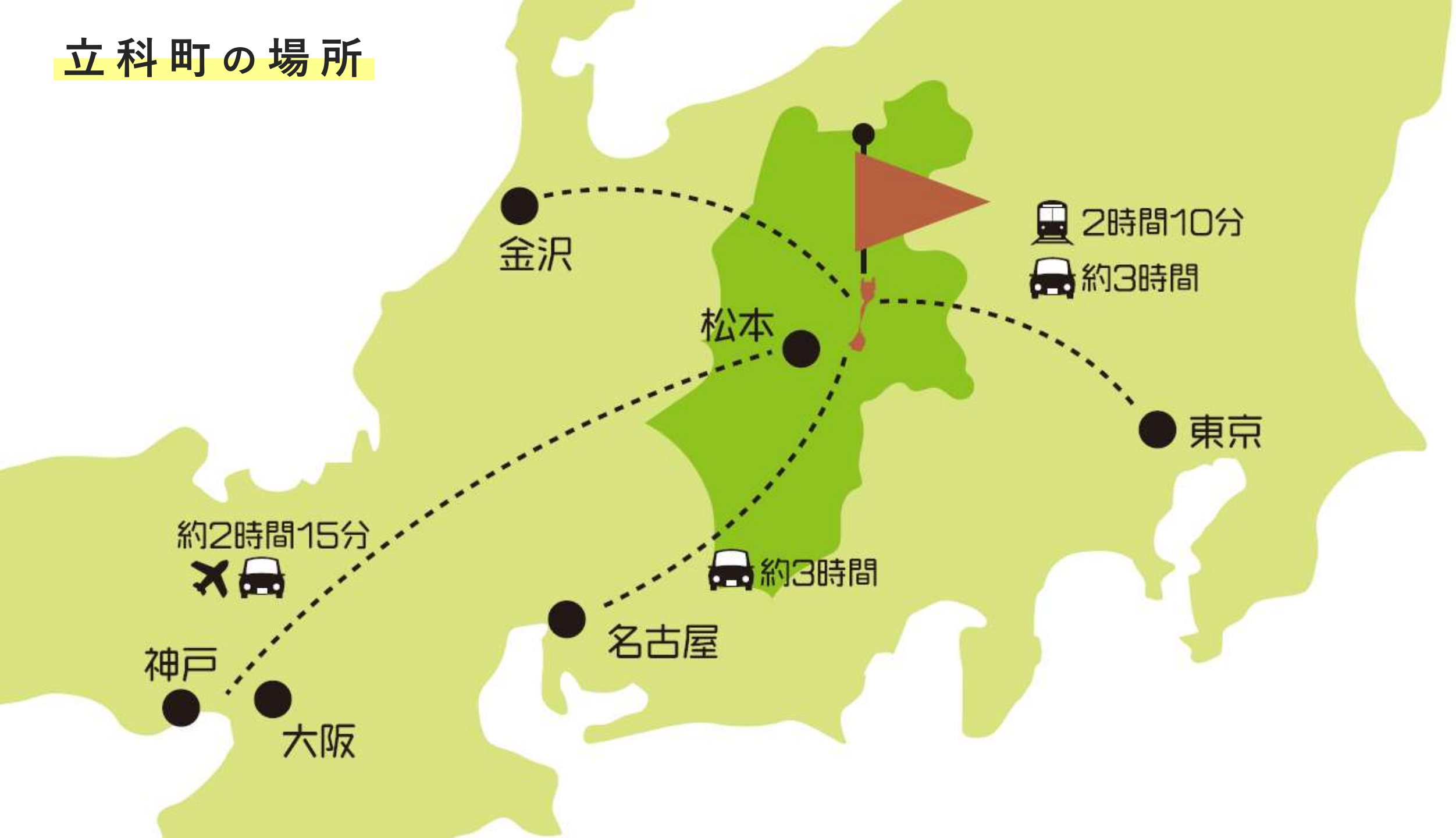


「働く、を変える」 社会福祉型テレワークの実装

立科町企画課地域振興係 2023.4



立科町の場所



立科町の場所

里エリア



「立科 ≡ 蓼科」

高原エリア



立科町の課題整理

【課題①】

人口減少による衰退局面
(特に生産年齢人口)

DATA ~立科町人口ビジョン~

2045年の人口 2015年比 **36%減少**

10代後半~20代前半の人口 **30人減少/年**

【課題②】

U・Iターン希望者が望む職種と
当町の産業構造のミスマッチ

DATA ~RESAS~

1・2次産業比率が **54%** (全国平均32%、県平均41.0%)

DATA ~H28住民調査~

「テレワークセンターで働いてみたい」 **41%** (町民63世帯)

DATA ~茨城・宮崎県調査 H27~

U・Iターン希望者が希む職種上位 情報・サービス・公務

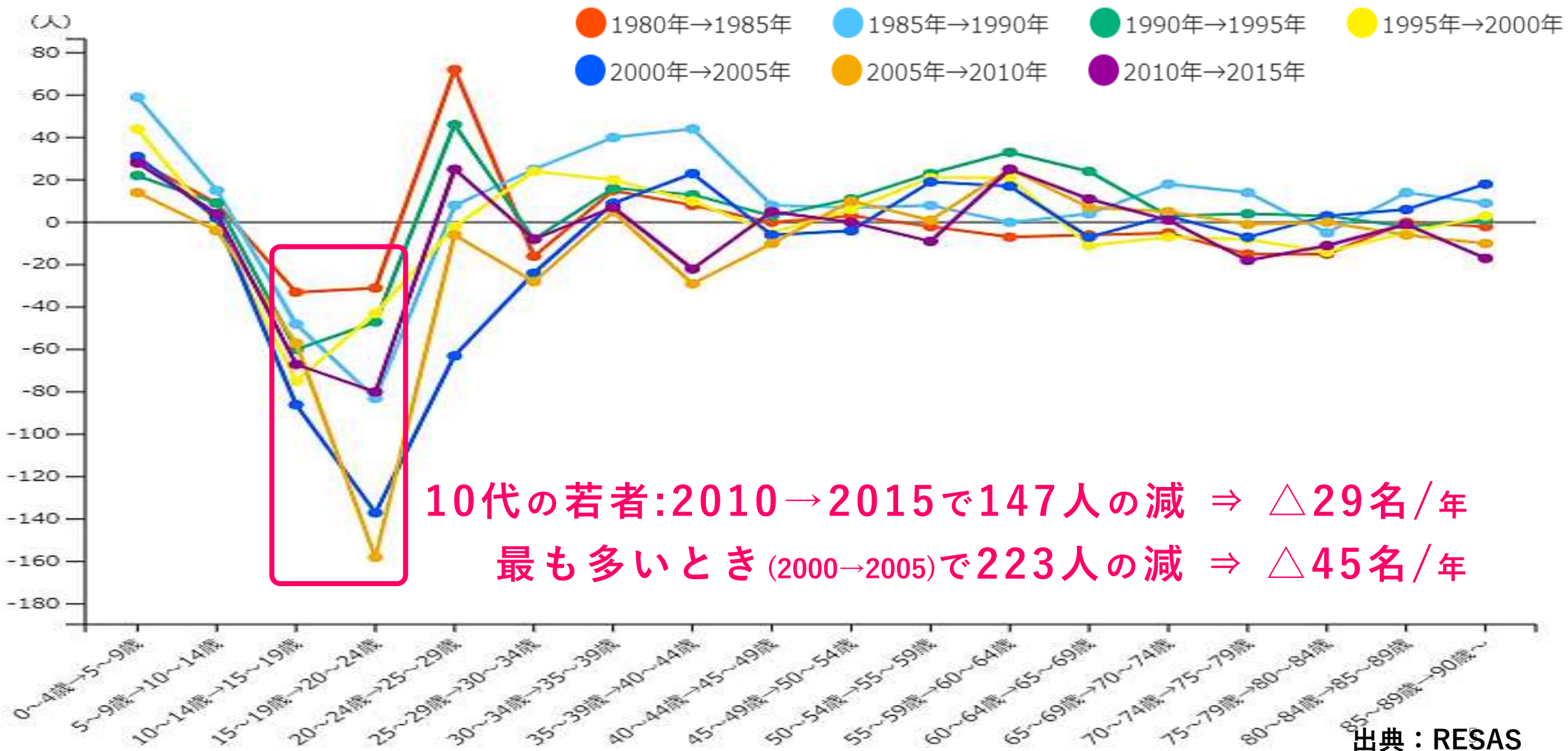
DATA ~株式会社マイナビ キャリアリサーチLab R4~

地方移住後は「リモートワーク」をしたい **49.4%** (n=235)

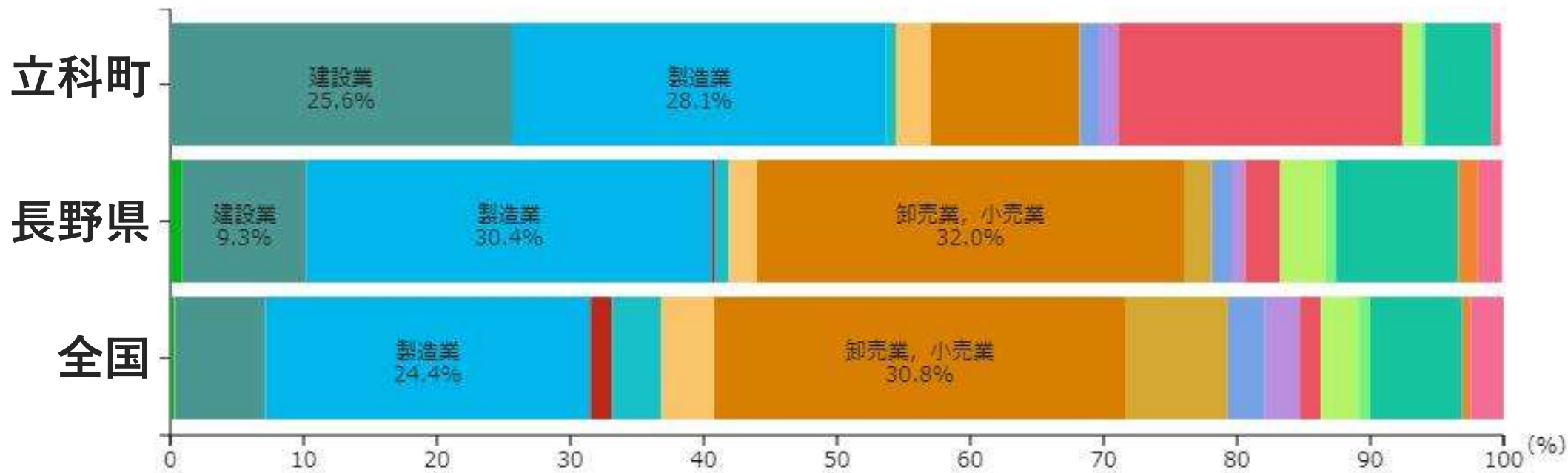
地方創生へ!

キャリアを分断せずに働ける職場づくり & 環境づくり

立科町の年代別の人口変動



立科町の産業別売上高（企業単位）2016年



- | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---|
| ● 農業, 林業
- (-%) | ● 漁業
- (-%) | ● 鉱業, 採石業, 砂利採取業
0.0百万円 (0.0%) |
| ● 建設業
6,467.0百万円 (25.6%) | ● 製造業
7,099.0百万円 (28.1%) | ● 電気・ガス・熱供給・水道業
0.0百万円 (0.0%) |
| ● 情報通信業
182.0百万円 (0.7%) | ● 運輸業, 郵便業
649.0百万円 (2.6%) | ● 卸売業, 小売業
2,835.0百万円 (11.2%) |
| ● 金融業, 保険業
- (-%) | ● 不動産業, 物品賃貸業
366.0百万円 (1.4%) | ● 学術研究, 専門・技術サービス業
382.0百万円 (1.5%) |
| ● 宿泊業, 飲食サービス業
5,387.0百万円 (21.3%) | ● 生活関連サービス業, 娯楽業
366.0百万円 (1.4%) | ● 教育, 学習支援業
76.0百万円 (0.3%) |
| ● 医療, 福祉
1,262.0百万円 (5.0%) | ● 複合サービス事業
- (-%) | ● サービス業 (他に分類されないもの)
178.0百万円 (0.7%) |

町の産業データ（全国との比較）

出典：RESAS

所得（一人あたり）2018年

	雇用者所得	その他所得
所得 (一人あたり)	196万円	238万円
所得 (一人あたり) 順位	<u>1,175位</u> ←→ 732位	

【雇用者所得】主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等のこと。

【その他所得】財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

※順位は、**全国1,719市区町村**におけるランキング

雇用者所得の向上が必要

付加価値額（一人あたり）2018年

	第1次産業	第2次産業	第3次産業
付加価値額 (一人あたり)	162万円	602万円	699万円
付加価値額 (一人あたり) 順位	1,499位	1,347位	1,492位

【生産付加価値額】地域が生産した商品やサービス等を販売して得た金額から、原材料費や外注費といった中間投入額を差し引いた額

※順位は、**全国1,719市区町村**におけるランキング

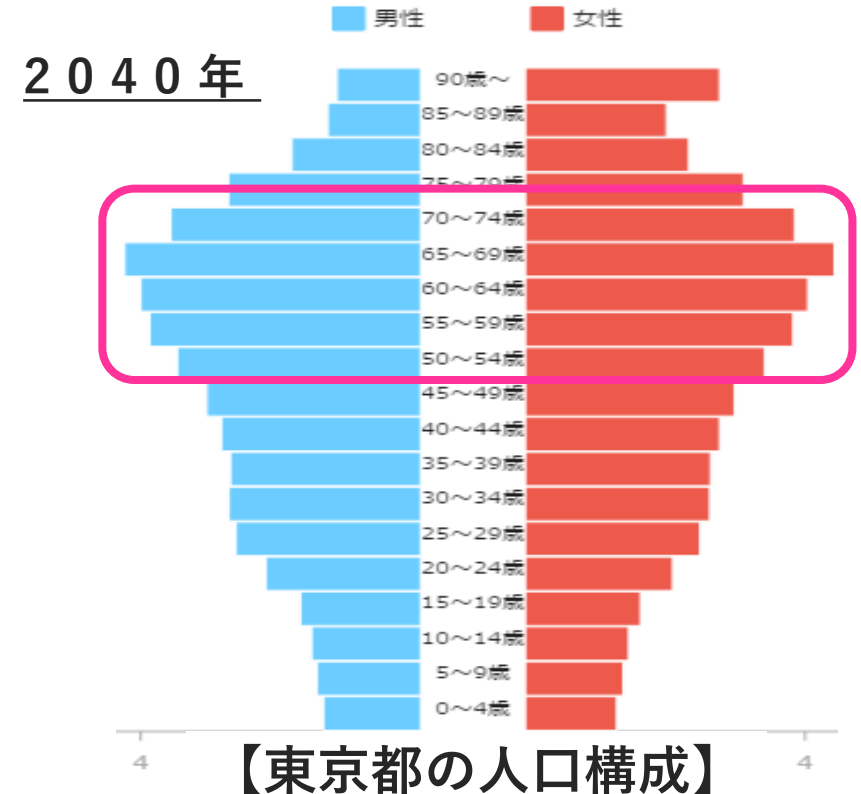
価値創出/生産性の向上が必要

今後の人口動向を見据えて

「テレワークの導入・実施を検討するに至った目的は何ですか。」

- 第1位：仕事と育児・介護など家庭生活を両立させる
従業員への対応（離職防止）
- 第2位：従業員の移動時間の短縮・効率化
- 第3位：従業員のゆとりと健康的な生活の確保
- 第4位：優秀な人材の雇用確保

平成28年度 テレワークセンター導入に向けた基礎調査
対象176社のうち「導入・実施を検討していると回答した」13社が対象



都会に出た町出身者から【介護離職者】が急増

キャリアを継続して活かせるUターン環境を構築！

テレワーク施策は【福祉政策】につながる

事業のビジョン

社会福祉型テレワークの推進と発展

新しい働き方を通じた社会参加と交流が町のあらゆる場所で生まれ、
地域住民が自分らしく活躍できる就労環境を創出する。



住民ワーカーによる
BPO案件受託事業

住民の募集

育成・研修

営業活動

業務受注

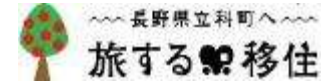
実施・納品

シナジーの発生

フィールド >
地域課題 >
人材提供 >

< 実証実験
< 事業協力
< 業務発注

関係性の構築



移住の総合支援



貸SOの設置運営



テレワーク移住の
おためし支援



新しい働き方
実践者・企業の誘致

雇用創出型テレワーク

どんな住民も町内で柔軟に働くことを応援

企業進出型テレワーク

都会で働く方々が立科町で働くことを応援

雇用創出型テレワークの取組内容

① 住民ワーカーの募集・育成



- ・説明会の随時開催
- ・スキルアップ研修の実施

② 就労環境の整備



- ・テレワークセンターの設置
- ・備品、業務システムの提供

③ 業務受注に向けた営業活動



- ・住民ワーカーによる営業チームを発足
- ・新規顧客開拓
- ・広報活動の展開

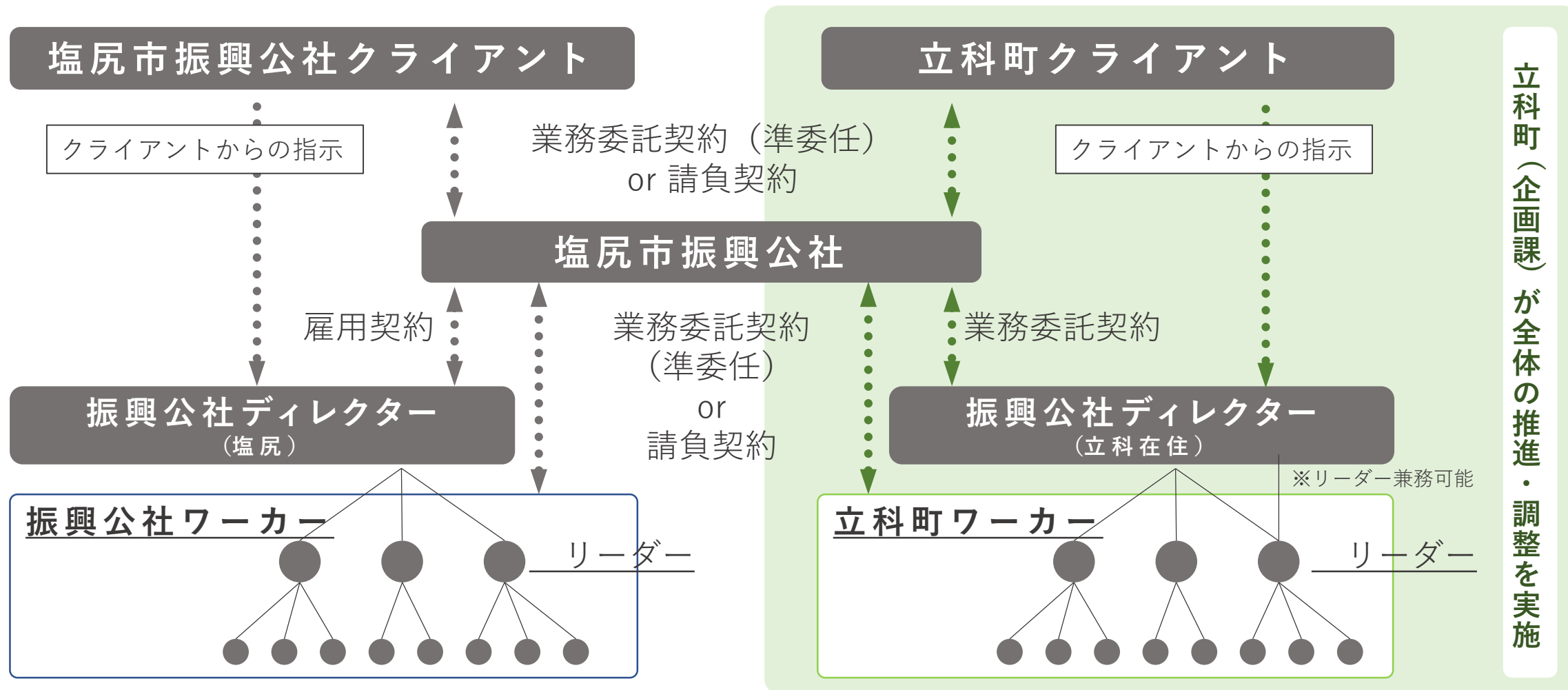
④ 受注業務の実施と管理 (塩尻市振興公社)



- ・業務契約・支払業務等の事務
- ・業務担当チームの構築
- ・業務の進捗管理、品質管理

人材育成から営業、契約、納品まで一貫して実施

雇用創出型テレワーク自治体間連携スキーム



※立科町のクライアントは、塩尻市振興公社と業務委託契約及び秘密保持契約等を締結 (立科町に法人格がないため)

※立科町のワーカーは、塩尻市振興公社のワーカーマネジメントシステムに登録し、秘密保持契約を締結したうえで業務実施

※ワーカーは全員【個人事業主】となり、報酬は塩尻市振興公社から支払われる

雇用創出型テレワークの主な取組内容

2017

2018

2019

2020

2021

2022

地方創生推進交付金【どこでもだれでもテレワーク推進事業】

地方創生推進交付金【小規模自治体の多様な働き方モデル創出事業】

総務省ふるテレ推進事業

Vision

社会福祉型テレワークの実装

多様な人たち（子育て世代、障がい者、高齢者、ひきこもり等）が町のあらゆる場所でICTを活用して仕事を通じた社会参加を果たす仕組みを実装する

おおむね達成！



数名のメンバーで
模擬業務開始



本格的にスキル研修を開始
塩尻市振興公社から
業務受注開始
コンソーシアム設立
(2024.3まで)



テレワークセンター稼働
業務受注が本格稼働
サテライトオフィス設置
→(株)アシストビジョン
(蓼科高校卒業生を採用)



営業チーム発足
・新規顧客の開拓
・主催セミナー開催
・広報ツール作成
専用Webサイト運用開始



阿部 長野県知事視察
スタイルブック創刊
ディレクター増員
立科WORKTRIP利用者から
業務受注開始



自治体広域連携の開始
信越総通から表彰
模擬業務実施し
ワーカー掘り起こし



ママのための
新しい働き方セミナー



地方が生き残るための
テレワークセミナー



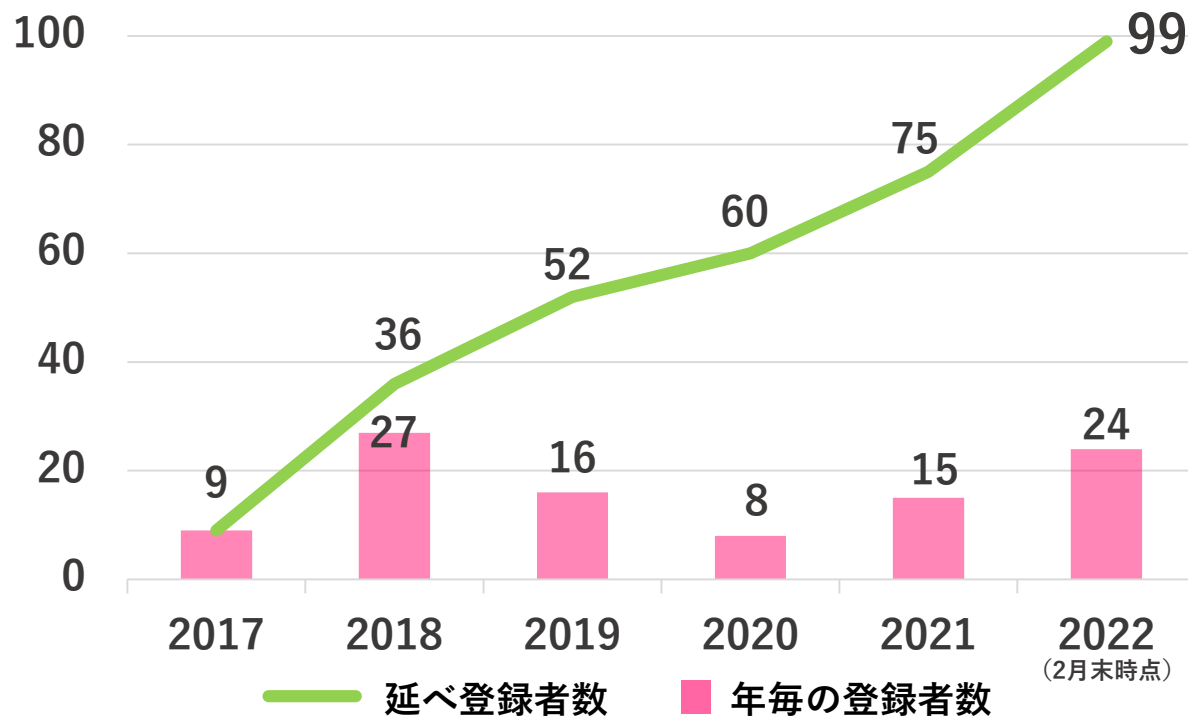
人口7,000人の町が
本気で取り組む働き方改革



住民ワーカーのデータ (2023年2月時点)

登録数 78名 (女性63名、男性15名) ※延べ99名

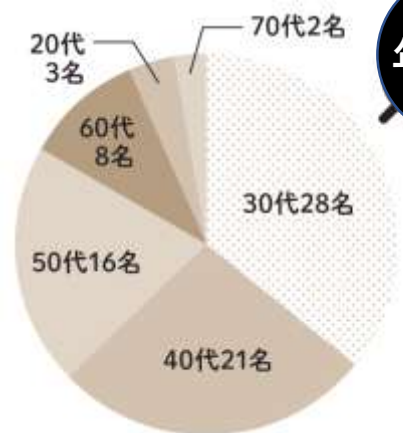
登録者数の推移



※登録者延べ99名のうち21名が退会

(退会理由) 就職のため 12名、転居 2名
その他 7名 (高齢、多忙など)

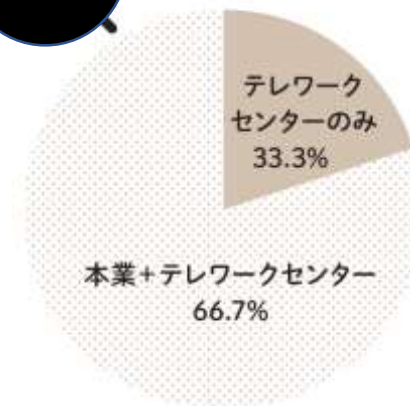
【町人口の1%超が登録】



【多くが子育て中の方】

年代別

働き方



【一人多役の働き方】

男女比

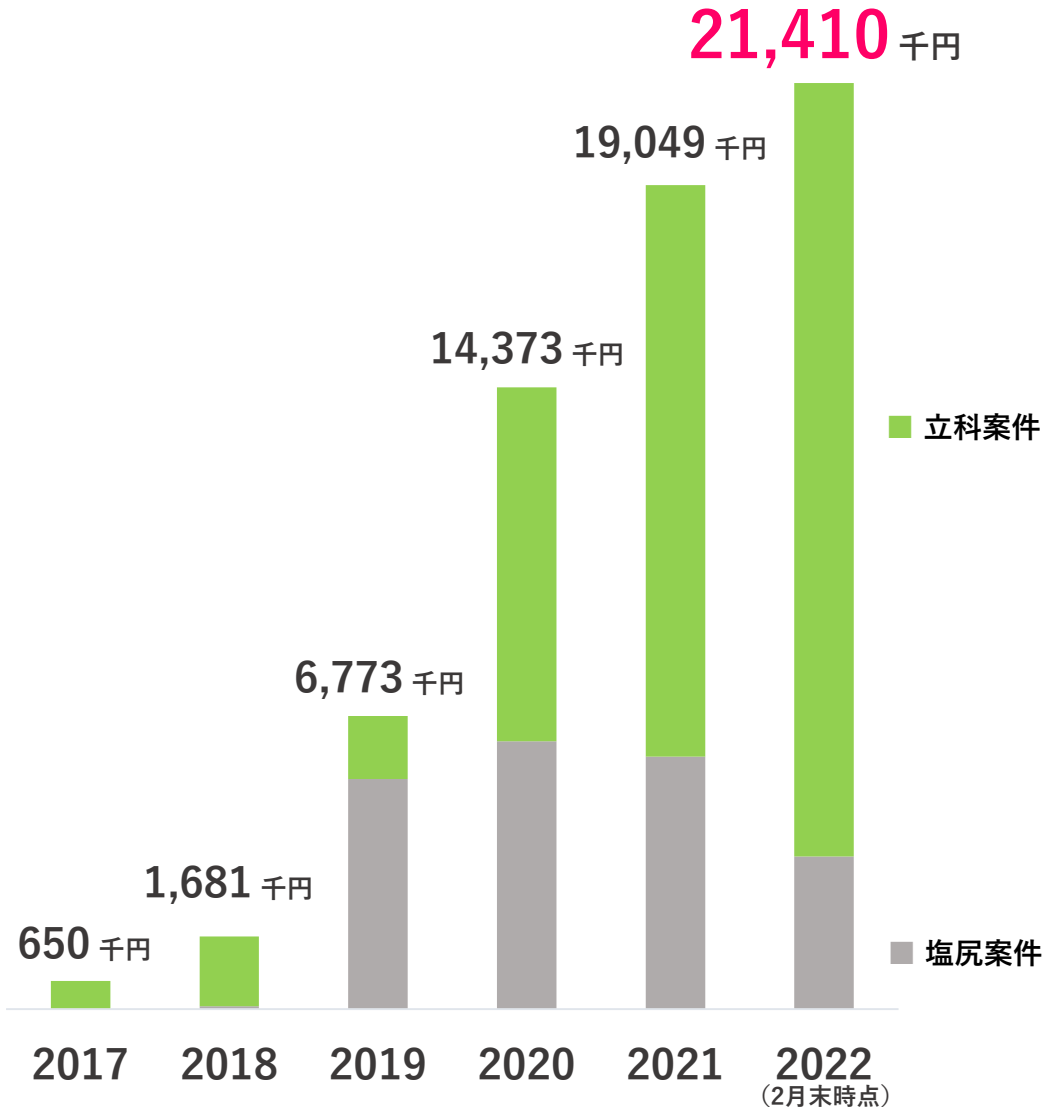


【多くが子育て中の方】

女性活躍や生涯活躍推進の一躍を担う施策に

受注金額と受注業務の内容

受注金額



受注業務の内容

主な受注先	県内外事業者：上場企業を含む全国の企業 町内事業者：建設業、農家、個人事業主等 自治体等：立科町、社会福祉協議会、塩尻市振興公社
主な業務内容 (一例)	バックオフィス支援：社内経理業務（支払、請求）、購買業務、福利厚生施設管理業務等 アノテーション業務：AIの教師データ入力 営業支援：営業資料作成・発送、電話営業等 クリエイティブ業務：ウェブページ作成、誌面デザイン 記事ライティング：記事執筆、取材、写真撮影 議事録の作成：音声データから文章起こし データ入力：名刺・会員名簿・顧客リスト作成 DM発送業務：発送先リスト作成、DM封入等 郵便物の作成と発送：宛名作成、発送物の印刷、封入等

事業のビジョン

社会福祉型テレワークの推進と発展

新しい働き方を通じた社会参加と交流が町のあらゆる場所で生まれ、
地域住民が自分らしく活躍できる就労環境を創出する。



住民ワーカーによる BPO案件受託事業

住民の募集

育成・研修

営業活動

業務受注

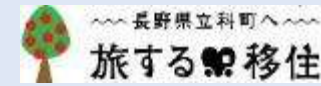
実施・納品

シナジーの発生

フィールド >
地域課題 >
人材提供 >

< 実証実験
< 事業協力
< 業務発注

関係性の構築



移住の総合支援



貸SOの設置運営



テレワーク移住の
おためし支援



新しい働き方
実践者・企業の誘致

次はこっちの話

雇用創出型テレワーク

どんな住民も町内で柔軟に働くことを応援

企業進出型テレワーク

都会で働く方々が立科町で働くことを応援

おためしテレワーク@たてしな

立科町なら、すぐできます！



テレワークのおためしを検討中の企業のみさまへ

どうせ試すなら、すぐに出来て、お金がかからない方がいいですよね？
 だって、おためしですから。
 立科町なら、すぐ動けます。すぐ住めます。
 オフィスも住居も、賃料・光熱費 共に 0円。必要な設備・機器類もほぼ全て揃っています。
 知らない土地で働くのは不安もありますが、
 オフィスとフロアには移住・観光案内があり、地域おこし協力隊も常駐。
 町や暮らしについて気軽に聞いて、すぐ馴染めます。
 山と湖のリゾートエリアにもすぐ行けて、大自然の中でリフレッシュできます。
 思い立ったが吉日。今すぐ、立科町で試してみませんか？

初期投資
ほぼ0円

- パソコン
 - 布団 (持ち込みもよし、レンタルもよし)
 - あなた (働く人)
- 以上

必要なのはこれだけ！

初期投資
ほぼ0円

立科町なら、すぐできます！



※必要なもの揃っています。無料です！ 用意するのはPCだけ。(2017年5月にリフォーム済み、きれいです！)



※住居もあります。無料です！ 用意するのは布団だけ。(立科町移住体験住宅をご利用頂きます)



※オフィスは移住サポートセンター / 観光案内 / 歴史資料館と同居 (地域おこし協力隊も常駐)



※温泉・登山・スキー・スノボ・キャンプ・田舎料理に新鮮野菜いただけます / あります。OFFも充実。

すぐ応募したい方はこちら!! >> <http://www.sugudeki-tateshina.jp>

お問い合わせ: 立科町企業課企画課
 〒384-2305 長野県北佐久郡立科町大字西田2532 / Tel. 0267-88-8403 / FAX 0267-56-2310 / E-mail kikaku@town.tateshina.nagano.jp
 土日祝日の連絡先: 立科町移住サポートセンター
 〒384-2305 長野県北佐久郡立科町大字西田2602 / Tel. 0267-78-5645 / FAX 0267-78-5646 / 対応時間 8:30-17:15 / E-mail sasu@san-jan.jp

用意するもの

- パソコン
- 布団 (持ち込みもよし、レンタルもよし)
- あなた (働く人)

以上



おためしテレワーク@たてしな

【希望者数】 【おためし実施者】

2017 年度	8 組 13 名	・ 安井氏【個人事業主：エンジニア・プログラマ】 https://yiusay.net ※当町事業者のウェブ制作、住民ワーカーへの業務発注 ※現在、渡米中（企業勤務）
2018 年度	6 組 8 名	・ 白井氏【個人事業主：オフィス開発支援】 https://crowdia.jp ※住民ワーカー営業チームアドバイザー契約・業務発注案件開拓
2019 年度	13 組 19 名	・ みぜん合同会社【個人事業主：人事コンサル】 http://mizen.co.jp ※住民ワーカーへの業務発注案件の開拓・営業支援 ※現在、隣市のクラインガルテンを契約し 2 拠点生活
2020 年度	19 組 31 名	・ 受入実績なし ※県の本事業目的と志望動機の不マッチが多発
2021 年度	7 組 14 名	・ SPECTRUM株式会社【デザインコンサルティング】
2022 年度	3 組 3 名	・ 小嶋氏【個人事業主：デザイナー】



立科
WORK TRIP

みんなで泊まって、働こう。

立科 WORK TRIP のご紹介

信州を代表する高原エリアで
費用と手間を抑えて確実に成果の出る
ワーケーション / 開発合宿を

立科 WORK TRIP とは 平成29年度(2017)から実施

立科町内（主に白樺高原エリア）にある
ホテルやペンションに
仕事ができる環境と機材を用意して
会社の仲間やプロジェクトメンバーに
利用（宿泊/滞在）してもらう町の施策。

ワークマシマシ！
成果ガッツリ！

想定した利用シーン

開発合宿

オフサイトミーティング

チームビルディング

アイデアソン/ハッカソン

ワーケーション



- ① 受入施設に**一定品質**を担保
- ② バケーションまで**徒歩0秒**
- ③ **目的に応じた宿・プラン**を
コンシェルジュが**手配**

立科 WORK TRIP の受入実績

個人のワーケーションや家族連れワーケーション(バケーション的なもの) をのぞく

4月~7月 / 9~11月の合計6ヶ月



立科 WORK TRIP の企業メリット



普段よりも2、3週間分進んだ気がするという言葉が出たのは直接会わないとできないコミュニケーションがあるということのを再認識できたから。

クリエイションライン株式会社様



心と頭がほぐれた状態で仕事に向き合って新しいアイデアを創出することができるからとてもいい。

株式会社シソーラス様

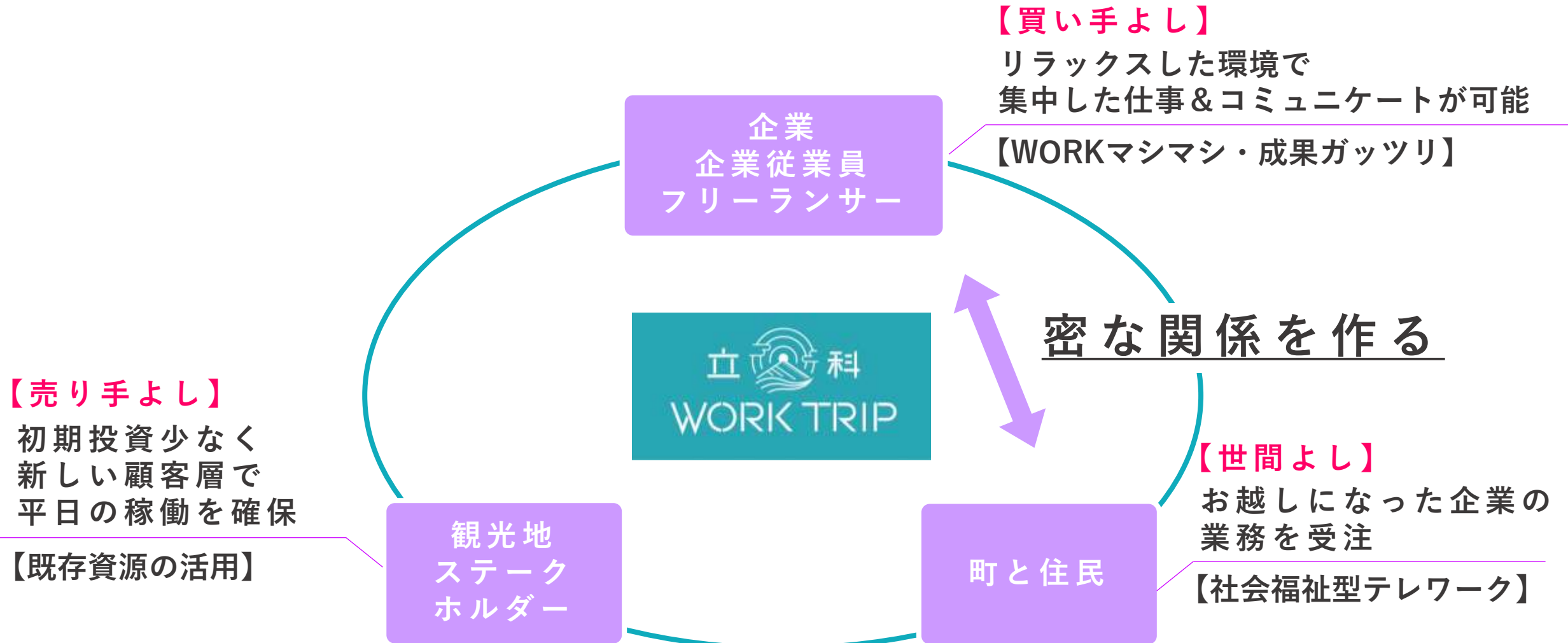


リモートだとやりにくいコミュニケーションが取れたというのがすごくよかった。チームで合宿みたいな感じでこういう所に仕事に来るのはいいんじゃないか。

株式会社コンセント様

企業様が【立科 WORK TRIP】を利用することの **効果を実感!**

【三方よし】の立科WORK TRIP



【三方よし】が実現できる可能性

株式会社ミライト・ワン・システムズ様との事例



株式会社ミライト・ワン・システムズ

✕ 当地ホテル



✕ 立科町テレワークセンター

2022年5月 役員が視察され、オフサイト施設としてホテルと法人会員契約
その後、オフサイトMTGで当町滞在多数
立科町の住民ワーカーへ業務発注開始

【買い手よし】

- ・ 人手の確保
- ・ コア業務への集中

【売り手よし】

- ・ 法人契約獲得
- ・ 平日の稼働増加

【世間よし】

- ・ 新規業務の受注

企業進出型テレワークを入口とした地域雇用創出の好事例

どこにいても 誰もが働ける時代を立科町から

田舎だから仕事がない。都会にいないと仕事ができない。

そんな常識はもう終わりにしてどこにいてもだれもが働ける時代へ。

立科町はテレワークという方法で地方の新しい働き方に挑戦しています。

